

# PCB廃棄物処理事業と 力ネ力の責任

2023年12月2日(土)

日台油症情報センター  
PCB処理の安全性を考える全国連絡会  
藤原 寿和

元高砂市議会議員 井奥 雅樹

# PCB生産量の推移

日本のPCB生産量の96%はカネカ（旧鐘淵化学工業）

PCB総生産量：58,787トン、うちカネカ56,326トン

PCB生産量の推移

生産量トン



カネミ油症事件発生

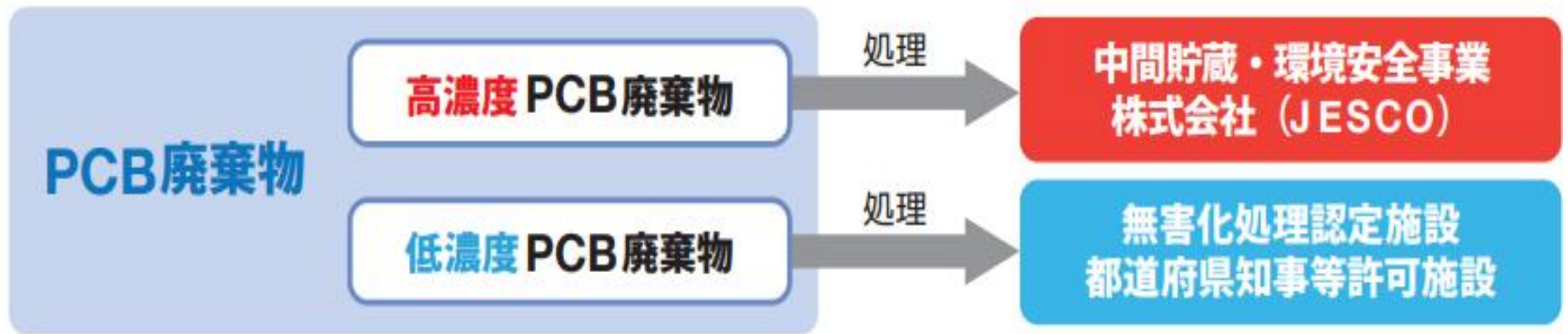
三菱モンサント生産開始

生産中止

年

# PCB処理の現状はどうなっているのか！？

**2001年、PCB廃棄物処理特捜法制定**  
**⇒2004年処理開始**



**高濃度 PCB 廃棄物：2023年3月31日まで処理終了！**

**低濃度 PCB 廃棄物：2027年3月31日までに処理終了！**

## 高濃度PCB

### ①高圧変圧器・コンデンサー等



高圧トランス



高圧コンデンサ

高圧変圧器、高圧コンデンサー、リアクトル、放電コイル、サージアブソーバー、変成器、開閉器、遮断器、整流器等

### ②安定器等



蛍光灯安定器

蛍光灯安定器、水銀灯安定器、小型電気機器等

### ③可燃性のPCB汚染物(100,000mg/kg超)



感圧複写紙

感圧複写紙、ウエス、汚泥、防護具類、塗膜くず等



ウエス



インナー手袋



汚泥

### ④不燃性のPCB汚染物(5,000mg/kg超)

## 低濃度PCB

### ①微量のPCBに汚染された廃電気機器等



変圧器・コンデンサー等



柱上変圧器



OFケーブル

### ②可燃性のPCB汚染物等(100,000mg/kg以下)

### ③不燃性のPCB汚染物等(5,000mg/kg以下)



金属くず、コンクリくず、廃油等

中間貯蔵・環境安全事業(株)(JESCO)の5事業所

※②、③は北海道・北九州のPCB処理事業所で処理

都道府県及び政令市の長による許可施設

環境大臣による無害化処理認定施設

※処理施設ごとに、処理可能な品目が異なる。

# 高濃度PCB廃棄物の処理期限

- PCB（ポリ塩化ビフェニル）とは、難分解性で慢性毒性を有する化学物質。
- 高濃度PCB廃棄物はすべてのエリアで、処分期限を終了

## ●高濃度PCB廃棄物の処分期間と事業エリア

安定器及び汚染物等

北海道(室蘭)・東京 事業エリア

処分期間：令和5年3月31日まで

処分期間終了

安定器及び汚染物等

北九州・大阪・豊田 事業エリア

処分期間：令和3年3月31日まで

処分期間終了

変圧器・コンデンサー

北海道(室蘭) 事業エリア

処分期間：令和4年3月31日まで

処分期間終了

変圧器・コンデンサー

東京 事業エリア

処分期間：令和4年3月31日まで

処分期間終了

変圧器・コンデンサー

豊田 事業エリア

処分期間：令和4年3月31日まで

処分期間終了

変圧器・コンデンサー

北九州 事業エリア

処分期間：平成30年3月31日まで

処分期間終了

変圧器・コンデンサー

大阪 事業エリア

処分期間：令和3年3月31日まで

処分期間終了



# カネカ高砂工業所のPCB廃棄物保管量

表-1 PCB 廃棄物の保管量

種類	名称、当初保管量	処理概要	2021/4 保管	2023/10/17 現在
汚泥、固形物など	PCB 固形物 218 t	分析調査→10%以下 118t 固液分離→PCB 油 37t	新 PCB 油 : 37t 低濃度物 : 181t	高濃度廃棄物 0 t  低濃度物 457 t * *: 塩素対策(収納量/ ドラム削減+白土添加) の実施により増量 [R8末まで]
	ろ過ケーキ 273 t	洗浄分離→PCB 油 112 t	廃 PCB 油 : 53t 低濃度物 : 126t	
	その他 39 t	保管 (低濃度)	低濃度物 : 39t	
	低濃度物 41 t	全量オオノで処分	0 t	
TC 施設 解体物	タンク残渣 79 t	内、45t をオオノで処分	低濃度物 : 34t	高濃度物 : 0 t 低濃度物 : 457 t
	配管類(低濃度) 49 t	全量オオノで処分	0t	
圧縮ドラム	圧縮ドラム缶 400 t	全量オオノで処分	0t	
	高濃度物 : 609 t 低濃度物 : 490 t		高濃度物 : 90 t 低濃度物 : 380 t	
洗浄分離 廃棄物	配管、ポンプ、予備 乾燥機など (低濃 度)	今後、解体撤去で発生予 定	0t	
安定器	17t (65ドラム)	保管 (17t)	保管 (17t)	
電気機器	トランス等 (微量)	順次オオノで処分	—	

備考 低濃度 PCB 廃棄物保管量

前回報告(2023年7月26日)では2023年6月末の低濃度 PCB 廃棄物の保管量は477 tであったが、9月以降、約20 tをオオノ開発に搬出した為、10月17日現在の保管量は457t。

# カネカ高砂工業所のP C B処理の現状①

## ■ 高濃度PCB油

- 液状 PCB廃棄物は、2023年 6月 に全量をJESCO大阪に搬送。安定器 (65ドラム保管) は、2023年 10月 に全量をJESCO北九州に搬送。
- これにより高濃度 PCB廃棄物の JESCOへの搬出が完了。

# カネカ高砂工業所のP C B処理の 現状②

## 低濃度PCB油

- 保管低濃度 PCB廃棄物 (汚泥、PCB濃度10%以下)は、9月より無害化処理認定施設 (才才ノ開奎株式会社)に搬出を開始、逐次処分実施。



# 低濃度PCB廃棄物の処理期限



- 低濃度PCB廃棄物は令和9年3月末までに無害化認定事業者等と処分委託契約を締結することが義務づけられている。

## PCB特別措置法における定義

(その他のポリ塩化ビフェニル廃棄物の規制等)

### PCB特措法第十四条

保管事業者は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物（高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。以下この条及び次条において同じ。）の処理の体制の整備の状況その他の事情を勘案して政令で定める期間内に、そのポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は処分を他人に委託しなければならない。

(その他のポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分の期間)

### PCB特措法施行令第七条

法第十四条の政令で定める期間は、法の施行の日から令和九年三月三十一日までとする。

# PCB処理の何が問題か

- PCB製造者の責任を問う法律がない⇒製造者のカネカは基金への拠出のみ
- PCB廃棄物特措法はPCB廃棄物のみを対象⇒高砂PCB盛立地をはじめPCB汚染土壌は対象外
- PCB廃棄物特措法はPCB廃棄物保有者のみを対象
- PCB処理の過程で事故や漏洩を発生
- PCB処理の遅れ⇒大型トランスや安定器など処理困難な廃棄物処理の遅れ（カネカ等）

# 高砂西港 PCB固化汚泥盛立地の管理について

令和5年11月1日

株式会社カネカ高砂工業所

## 高砂西港PCB固化汚泥盛立地の管理について（回答）

- 1、監視強化策 : 高砂西港PCB固化汚泥盛立地の天端、法面のクラックの状況について監視強化、把握する目的で、自主監視を2回／年追加します。  
(6月、12月)  
※確約書の監視回数と合わせて、4回／年の点検とします。
- 2、実施時期 : 追加の自主監視は、令和5年12月度より実施致します。
- 3、監視項目 : 下記、表-1を参照

# 高砂西港 PCB固化汚泥盛立地の管理について

表－１

項 目	確約書に基づく 監視回数(現状)	自主的管理強化策 監視回数(追加)
1) 天端のアスファルト面		
① 貫通クラックの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
② 穴あきの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
2) 天端の排水溝		
① 貫通クラックの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
② ゴミ等によるつまりの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)*
3) 法面		
① 貫通クラックの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
② 小段の沈下の有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
4) 側溝		
① 貫通クラックの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
② ゴミ等によるつまりの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
5) その他		
① 貫通クラックの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
② 穴あきの有無	2 回/年(9、3 月)	2 回/年(6、12 月)
③ フェンス損傷の有無	1 回/月	同左

- 4、その他：これまで通り 2 回/年の監視結果について、東播磨県民局地域振興室及び高砂市環境政策課宛に報告します。報告様式については、「沖浜盛立地監視及び地下水位調査報告」で報告し、上記に加え自主的な監視結果については、毎年行う合同点検会にて報告とします。報告様式については、添付 沖浜盛立地（自主）監視調査報告（様式－１）にて報告します。なお、異常が発見された場合には、定期報告を待たず速やかに県と市へ同時報告致します。



# PCBのことには一切触れないカネカの環境報告書

Kaneka

## 環境・社会報告書

2023

2022年4月1日～2023年3月31日

(一部期間外の情報を含みます)

### 4. 環境負荷に対する監視測定

兵庫県及び高砂市と締結した環境保全協定に基づき、環境に著しい影響を及ぼす可能性がある大気汚染物質、水質汚濁物質の排出量及び騒音・振動の定期的な監視を行い、全ての項目で法律及び環境保全協定値以内であることを確認しています。

### 5. 化学物質の適正管理と排出量低減

大気・水質の汚染防止、人や環境に有害な化学物質の適正な管理と排出量の削減に取り組む、大気汚染防止法、水質汚濁防止法の規制値や自治体との協定値を遵守し、生産活動を行っています。



# ご清聴ありがとうございました



カネカ高砂工業所

PCB盛立地

